

鳴門子ども学園通信

なるっ子

第19号

発行日 令和5年7月

発行所 鳴門市里浦町里浦字坂田 415-3

電話 (088) 683-1201

[http://www.ca.pikara.](http://www.ca.pikara.ne.jp/narukodomo/)

ne.jp/narukodomo/

社会福祉法人 寿福祉会

鳴門子ども学園

発行人 豊田 基史

「二十周年」



鳴門子ども学園 園長 豊田 基史

鳴門市からの民営移管により、鳴門子ども学園として運営を始め、今年で二十年の節目の年となりました。私は以前、児童養護施設での勤務経験もあって、家庭的に不遇な子どもたちの支援が出来ればと思いい、施設を受けさせて頂きました。引継ぎの当初、園舎は老朽化がひどく、昔の寮制、部屋は畳の大部屋、個室なし、エアコンはなくテレビは食堂に1台、コピー機使えない、シャワーでない、オーブンなし、消防点検オール不良、他にも多々、市が運営をしてきたはずなのに想像以上、子ども達にとっても職場としても設備環境全くの不良の有様でした。

そんなことで、使えるもの、使えないものを整えることから始まり、毎年修理修繕、器具の補充に翻弄されてきました。

平成二十三年に園舎の全面改築が完成し、その後も園庭拡張、外構工事、駐車場の整備、自立生活訓練室と環境改善に取り組んできました。開設当初は児童養護施設での勤務経験者は私を含め三人で他は全員が初めての仕事でもあり、手探り状態で夢中で努めてきました。思い返せば、運営上にも、児童の養育上にもいろいろな事案が次々と起こり、園長として日々の判断処理に振り回されてきたようにも感じます。開所当初からの勤続二十年の職員が現在でも9名在職しており、困難を乗り越え学園を支えてくれて

います。二十年の間に住まいの改善とともに直面してきたことが入所児童の家庭の多様化、発達障害等ケアニーズの高い児童の増、高齢化です。養育の難しさも日々、年ごとに痛感しています。それでも職員は、家庭的に恵まれない子ども達のお世話をしたい、そんな職場で働きたいと強い気持ちを持って就職をしてきていますので、明るく元気に子ども達に向き合っています。

近年、国は少人数で家庭に近い環境の中での養護を推進していますが、鳴門子ども学園は、すでに平成二十三年園舎改築時に小規模グループケアを二か所を実施し、子ども部屋も大半を個室にし、子どもの育ちとしてよりよい住まいづくりに努めてきました。それによって以前の大部屋時代とは違う、落ち着いた雰囲気となった気がしています。

児童養護施設は社会的に認知度が低く、あまり知られていません。良い印象を持たれる人が少ないように感じます。時々、大変な

仕事ですと言われることがありますが、養護が必要な子どもたちは、いつの時代にも存在し、特に戦争など国が混乱する時には数多くの孤児が生まれます。この施設も昭和二十六年に第二次世界大戦後の戦争の犠牲による子ども達の救済から始まっています。今は平和な世の中になっていますが時代が変わり、現在では虐待ということでの児童の養護が増えていきます。

鳴門子ども学園はこれからも養護を必要とする子ども達の為に、懸命に支援を続けていきたいと思っています。子ども達には生まれてきて良かった、社会の一員として頑張っていこうと思える、そんな気持ちの持てる養育に努めていきたいと考えています。二十年を迎えられたことは皆様方の御支援のおかげであり、次の十年に向かって頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも御支援の程、よろしくお願い申し上げます。



「二十年の感謝」

主任指導員

あつという間に二十年が経ってしまいました。二十年前は、小規模グループケアもありませんでした。園舎も建て替わり、大変きれいに、またとても過ごしやすい環境になったと思います。

さて、二十年の間、様々なことがありました。子どもへの支援、難しい保護者への対応、各研修会での発題、座長など、大変なことが多かったように思います。しかし、今振り返ってみると、すべて自分一人で成し遂げたことは何一つありません。私に関わってくれて、支えてくれた人達が、大勢いたからこそ、成し遂げられたと思っています。本当に感謝の一言に尽きます。

私も退職年齢が近づいてきましたが、これからも感謝の気持ちを大切にして過ごしていきたいです。また、子ども達にも感謝する事の大切さを教えていきたいです。最後に、二十年間出会った人すべてに感謝したいと思っています。



開設年度からの職員よりひとこと

次長 豊田弘基

施設職員となり、二十年が経過しました。いくら年数が増えても子ども達との関わりに慣れはありませんし、同じような日もあります。毎日が新鮮で新しい日々の中、これからも子ども達の成長を身近で見守っていききたいと思っています。

児童指導員

今から二十年前、フレッシュな新卒の職員だった私も、今では、すっかり中年のおじさんになりましたが、これからも気持ちには、フレッシュに、子ども達と真摯に向き合い、成長を見守っていきける職員でありたいです。

児童指導員

平成十六年に鳴門子ども学園と改称、二十三年に新園舎となり、現在に至るまでの長い月日の経過を早く感じていきます。子どもたちと共に学園で学び得た事を、未来の子どもたちに伝えていきたいと思っています。



保育士

はや二十年、やつと二十年。私の場合には前者の方かもしれません。自分が子ども達を支えてきたつもりが、この日々を支えてくれたのは、子供達でした。これからも共に、しっかりと上を向いて歩いて行きたいと思っています。

栄養士

今年で二十年目を迎える事ができました。これからも鳴門子ども学園の支えに少しでもなれるよう頑張っていきたいと思っております。今後も宜しくお願いたします。

栄養士

あつという間の二十年でした。周りの人達を支えられ、そして、子ども達の美味しそうに食べる姿を嬉しく感じながら、働く事が出来ています。これからも子ども達に喜んでもらえる料理やおやつを作っていきたいです。

調理師

勤続二十年を迎える事が出来るのは、子ども学園で出会い支えていただいた方々のおかげです。これからも食事が楽しく笑顔になれるように支援していきたいと思っています。



自分が社会人になったら

高校三年生 I・T

現在、僕は高校三年生で今年度鳴門子ども学園を卒園し、社会人となります。僕の進路は、就職で工場系（製造）の仕事に就きたいと思っています。だから、もうすぐ学校での就職活動も始まることもあり、自分なりに仕事について少し調べてみたり、鳴門子ども学園の先生方や母親などいろいろな話をしたりしています。社会人になると様々な苦難や悩み、不安などたくさん出てくるとあると思いますが、この鳴門子ども学園で生活してきて、今までたくさん経験してきたことを卒園して社会人になっても活かしていきたいと思います。そして、今までの経験が自分の自信になると思っています。だから、これからたくさんのことに挑戦したり、いろんな経験をもっとたくさん積んだり、もっと新しい自分を作っていく、充実した社会人になりたいと思っています。



令和5年度職員紹介



新任職員からのコメント

児童指導員

子どもたちともっと関わり、子供たちを理解して寄り添いながら支援していきたいです。子どもの成長を身近に感じ、自立に向けて手助けできるように頑張りたいです。

事務員

ご縁をいただき、働き始めて半年が経ちました。仕事をしながらも心の成長を感じられる、とてもあたたかい職場だと感じています。今までの経験を活かし、お役に立てるように頑張ります。宜しくお願いします。



子ども家庭サポート相談窓口



家庭内でのお子様の養育相談に応じます。

詳しくは、鳴門子ども学園 (088) 683-1201

ショートステイ・トワイライト事業

- ・ご家庭でのお子様の養育が一時的に困難である場合
- ・諸事情により保護者の帰宅が遅くなる場合

お子様をお預かりします。(対象児童2～12歳)



社会福祉法人寿福社会・鳴門子ども学園

【貸借対照表】

令和5年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目		勘定科目	
流動資産	53,907,555	流動負債	11,755,196
固定資産	521,682,575	固定負債	16,530,952
		負債の部合計	28,286,148
基本財産	245,934,922	純資産の部	
その他の固定資産	275,747,653	基本金	110,137,805
		国庫補助金等特別積立金	117,940,902
		その他の積立金	225,800,000
		次期繰越活動増減差額	93,425,275
		純資産の部合計	547,303,982
資産の部合計	575,590,130	負債及び純資産の部合計	575,590,130

【事業活動収支決算書】

令和4年4月1日～令和5年3月31日(単位:円)

勘定科目		当年度決算	
サービス活動増減の部	収益	児童福祉事業収益	203,303,427
		経常経費寄附金収益	510,000
		サービス活動収益計	203,813,427
	費用	人件費	149,444,207
		事業費	33,021,958
		事務費	8,161,162
		減価償却費	16,747,597
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,479,779
		サービス活動費用計	199,895,145
	サービス活動増減差額		3,918,282
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	5,070
		その他のサービス活動外収益	2,476,105
		サービス活動外収益計	2,481,175
	費用	その他のサービス活動外費用	1,674,400
		サービス活動外費用計	1,674,400
サービス活動外増減差額		806,775	
経常増減差額		4,725,057	
費用	固定資産売却損・処分損		6,239,310
		特別費用計	6,418,143
	特別増減差額		-2,072,040
当期活動増減差額		2,653,017	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	100,072,258	
	当期末繰越活動増減差額	102,725,275	
	その他の積立金積立額	700,000	
	次期繰越活動増減差額	93,425,275	



青木貿易(株)様・(株)イエロースタジオ様・
 ウェルテクスアコウ様・ALT 様・
 (一社)F-connect 様・北野商店(様)・キワニスクラ
 ブ様・(株)さけや様・(株)サニクリーン様・三和商
 事(株)様・(株)四国写研様・四国放送様・自然保護
 活動団体あおいろ様・(株)芝原電機様・松竹堂様・
 食卓クラブ様・自主ノート事務局様・(株)ゼブラ
 様・全国シャンメリー協同組合様・(一社)全国食
 支援活動協力会様・全国農業協同組合連合会様・
 (株)ソギ円様・(株)高橋ふとん店様・
 (株)Daska&Desiree 様・
 徳島県菓子工業組合様・(株)ネオピント様・(一社)
 徳島県ベストコントロール協会様・道己会様・戸
 田ファーム様・なかがわ耳鼻咽喉科クリニック様
 ナイスオート様・鳴門競艇情報協会様・鳴門市
 学校給食センター様・鳴門市社会福祉協議会様・
 鳴門ソントクラブ様・肉元様・(一社)日本海老協
 会様・日本鏡餅組合様・(株)ファーストリテイリ
 ング様・(株)藤岡輪業商會様・(株)フレーベル館
 様・(株)堀尾商店様・マンサンブルグループ マッ
 キーズ様・(株)mono 様・横浜震災機構様・レイ
 ンボーハウス様・(株)retishs 様・内田路子様・大
 江湧希様・大坪秀美様・大森盛司様・
 岡本様・亀山卓也様・北渕一博様・木ノ桐陽子様・
 斎藤政明様・幸木浩昭様・田口美津子様・中岸敏
 昭様・美恵子様・手塚英司様・十三子様・野口和
 俊様・しのぶ様・野口真様・日根香様・風船匠の
 じょにい様・平岡利恵様・細川宣子様・松本英信
 様・門司一徹様・山田綾乃様・吉岡様・吉成様・
 吉成フジ子様・匿名の方

ありがとうございました